



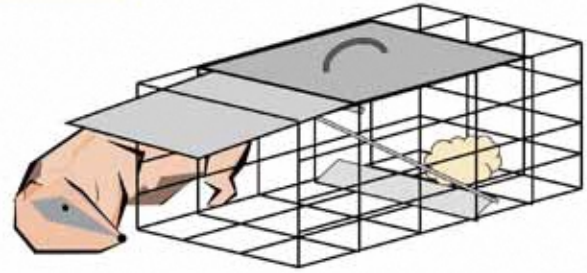
家庭菜園をタヌキやアナグマ(マミ・ムジナ)に荒らされると、「捕ってやろう!」と、近くのホームセンターで売っている金属製の籠状の『箱わな』に手が伸びます。

使い方は簡単。籠のふた部分をあけて、中にエサを入れるだけ。あとは捕獲を待つのみ!

でも、ちょっと待ってください!!この行為には罠があります。籠を設置した方、捕獲許可はありますか?狩猟免許はお持ちですか?

『鳥獣の保護及び管理並びに狩猟の適正化に関する法律(鳥獣保護管理法)』第8条では『鳥獣及び鳥類の卵は、捕獲等又は採取等をしてはならない。』と定められています。狩猟免許を持った者が狩猟期間中に狩猟捕獲する、又は捕獲許可を得た者が有害捕獲する場合は、第8条の例外となりますが、これらに該当しない者が捕獲する、つまり第8条に違反することになり、一年以下の懲役又は百万円以下の罰金に処されます。ただし、モグラ科全種とネズミ科全種については、『農業又は林業の事業活動に伴い捕獲等又は採取等を行うことがやむを得ない』場合は捕獲しても良いと第13条で定められています。モグラ、ネズミの捕獲のみ例外で、それ以外は無許可で捕獲してはいけないと覚えておいてください。

箱わなを買うこと自体は法律に触れませんが、それを使って野生動物を捕獲することは法律違反になることがありますので、捕獲が必要な場合はお住いの町役場にご相談ください。



〒日野郡鳥獣被害対策協議会 電話:0859-72-1399

## 新型コロナウイルス 感染症

新型コロナウイルスの変異株であるオミクロン株BA.5の感染拡大が止まらない中で、鳥取大学医学部ウイルス学分野 景山誠二教授に感染対策のポイントを教えてくださいました。



### ● オミクロン株BA.5について

世界保健機関(WHO)が「懸念される変異株」に分類している変異株、オミクロン株の仲間です。今年春ごろから世界各地で広がり始めました。国内の第7波を引き起こした主な原因とみられています。厚労省の専門家会議の資料では、BA.5はBA.2よりも1.27倍速く感染が広がると推定しています。感染経路として「マイクロ飛沫(小さな飛沫)による感染」が疑われる事例が増加しております。



### ● 換気をして、室内に滞留する飛沫やマイクロ飛沫の濃度を下げましょう

空気中に散ったウイルスを含んだ飛沫やマイクロ飛沫が「空間に滞留する」ことで新型コロナウイルス感染の危険が高まります。マスクさえしていれば大丈夫というのではなく、換気を頻繁に行い、室内に滞留する飛沫やマイクロ飛沫の濃度が低くなるようにしましょう。エアコンをかけている中でもこまめに換気を行ってください。

空気の流れを確保するために、常時窓を数センチ開放しておくのも効果的です。

### ● 人との距離が取れない時は、マスクを着用しましょう

人との距離を取れない時は必ずマスクを着用しましょう。

ですが、一日中、ずっとマスクをし続けるのは苦しいものです。

人が近くにいる時は適宜マスクをはずして過ごし、また人混みに入るときは着用するということを忘れずに行ってください。

マスク表面や他の場所を触った手をつい顔や目に持って行ってしまっても、感染の危険があります。

マスク着用と併せて、こまめな手洗いも怠らないようにしましょう。

〒日野振興局 地域振興課 電話:0859-72-2086 FAX:0859-72-2072



#### 表紙写真

タイトル:「うんかい(雲海)」スポット

撮影者:日野町 松本 利秋

撮影者コメント:山陰と山陽を結ぶ国道180号、日野町・明地峠は「うんかい(雲海)」スポット。大山にむかっただけの雲海は、幻想的で運が開けます。秋から冬にかけてのシーズンには、全国から多くの写真愛好家や見物人で賑わいます。明地峠からの雲海と大山の姿は、アメリカCNNテレビの「日本で最も美しい場所34選」の一つとしても選ばれ、世界各国に向け、その魅力が発信されています。また、45年前には、映画「八つ墓村」のロケ地にもなりました。雲海は、秋(春も)の晴れた日の朝、見られます。